

第18回親睦会の報告



日 時：令和5年11月24日（金） 11：30～14：30

会 場：JR 大津駅前 そば處 やま喜

参加者：会員8名（内役員6名）

滋賀県支部の親睦会は、令和元年11月に【第16回親睦会】を琵琶湖ホテルで開催して3年間コロナ禍で開催できませんでした。令和4年11月8日に久しぶりにKKRホテルびわこで開催することができました。参加者は、会員11名と付き添い2名の合計13名でした。

会員37名の約1/3の参加であり、やはり交通の便が大きく参加要件につながるものと考えて、今回はJR大津駅前、京懐石料理にお酒を準備することを知らせて開催案内を届け、参加を呼びかけました。返信のない会員には、電話で呼びかけ14名の参加となりましたが、開催の前日までに欠席の連絡があり、最終的には8名の会員による開催となりました。

藤井支部長の開会の挨拶の後、宮前副支部長による乾杯で会食が始まりました。和やかな雰囲気の中、京料理を楽しみながら、会員それぞれの近況報告をしました。

会員のお一人は、飾り職人として、国宝級の腕をお持ちで全国の社寺建築の新築改修保存に奔走されているお話があり、興味を持ってその様子を聞くことが出

来ました。

親睦会の目的は、会員相互が対面で情報を交換しPMにより生命を救われたことを認識して、会の基本理念である『感謝、報恩、奉仕』の心をもって、お互いの絆を大切に、健全で快適な日常生活が送れるよう勤めることにより、ひいては地域社会の福祉の向上に寄与すること。

この目的を達成するために、より多くの会員が集うことが必要であり、そのために何をすべきかを真剣に考えることが反省事項となりました。

幹事 田中 正司

日本各地をライトバンで巡った良き思い出

10544 宮下 邦夫

会員の皆さま、お元気ですか。

私は、平成28年(2016年)2月2日に、長浜赤十字病院で洞不全症候群の為、ペースメーカー植え込み手術を受けました。当時は、生活の中で弱電波、弱電気、おおいに気を使って生活していました。今では随分慣れて、老後をグランドゴルフ、稲作、家庭菜園、各地へのドライブ等々楽しんでいます。

現役時代には日本各地をライトバンで営業し、仏壇、寺院、神社、神輿、祭車等の修理、制作等の見積をして、飾り金具の金メッキを仕事にしてきました。

私は、近江商人発祥の地の生まれで、飾り職人としての技量を認めていただいたお客様からの声に押されて遠くの峠向こうに、仕事が待っていると想着胸を躍らせ、車を走らせました。

当時は、まだカーナビや高速道路はなく、国道でも舗装路でなく砂利道もありました。お客様の顔を見るだけに何時も走りました。また、お客様の簡単なメモで北海道、東北、北陸、中部、東海、近畿、中国、四国、九州と各地で営業してきました。当時の営業マンの大多数は、列車で移動していました。今では、懐かしく良い思い出です。

会員の皆さまのご健康とお幸せを心よりお祈り申し上げます。

